

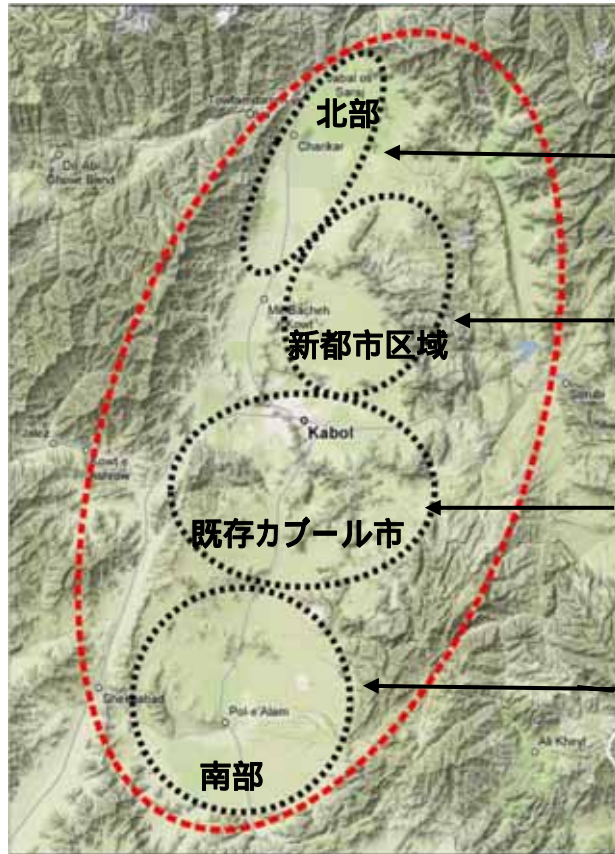
アフガニスタン国
カブール首都圏開発計画推進プロジェクト
デサブ南地区開発事業

2012年7月27日

JICA経済基盤開発部

1. カブール首都圏開発とは

カブール首都圏全体: 5.2百万人 → 9百万人



北部:
1.0 百万
→ 2.0 百万

新都市区域
0.1 百万
→ 1.5 百万

既存カブール市:
4.0 百万
→ 5.0 百万

南部:
0.3 百万
→ 0.5 百万

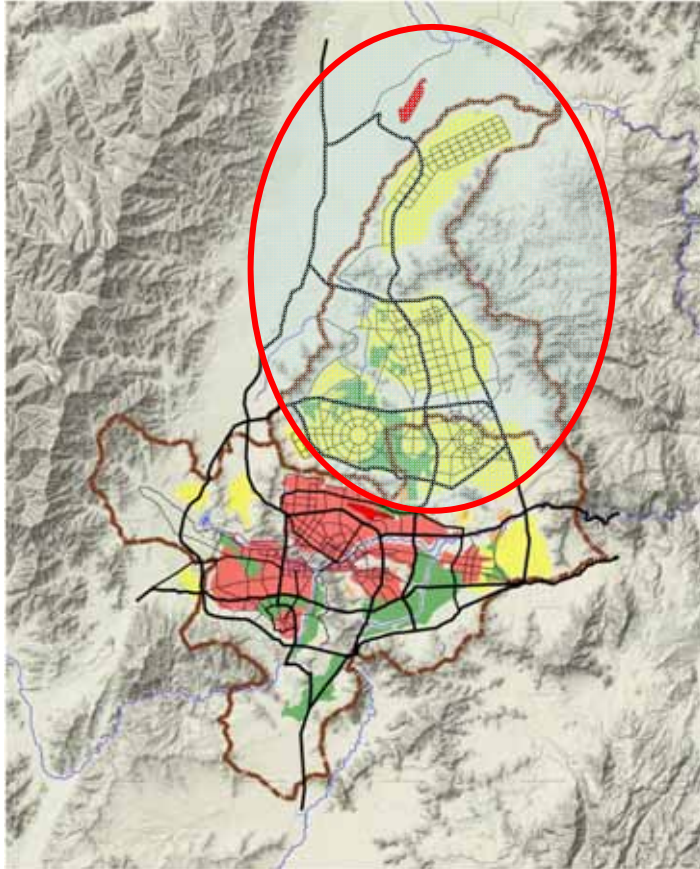
復興開発の進捗、及びカブール首都圏への人口の流入

カブール市:
山岳に囲まれた盆地

→ 水資源等の制約

→ デサブ、バリカブ地区での新都市の開発

2. カブール首都圏開発の概要



1. 現在のカブール市は内陸地で山岳に囲まれた盆地に位置するため、水資源、排水、道路、住居等の観点から都市環境を適切に維持するためには一定の限界がある。
2. このため、カブール市の北方に隣接するデザブ・バリカブ地域の居住・業務機能等を整備し、人口増加への対応、水資源を含む都市環境の悪化の防止が必要とされている。
2. カブール首都圏開発は、ア国の最上位計画(ANDS)で主要プログラムの一つに位置付けられている。

3 . カブール首都圏開発の経緯

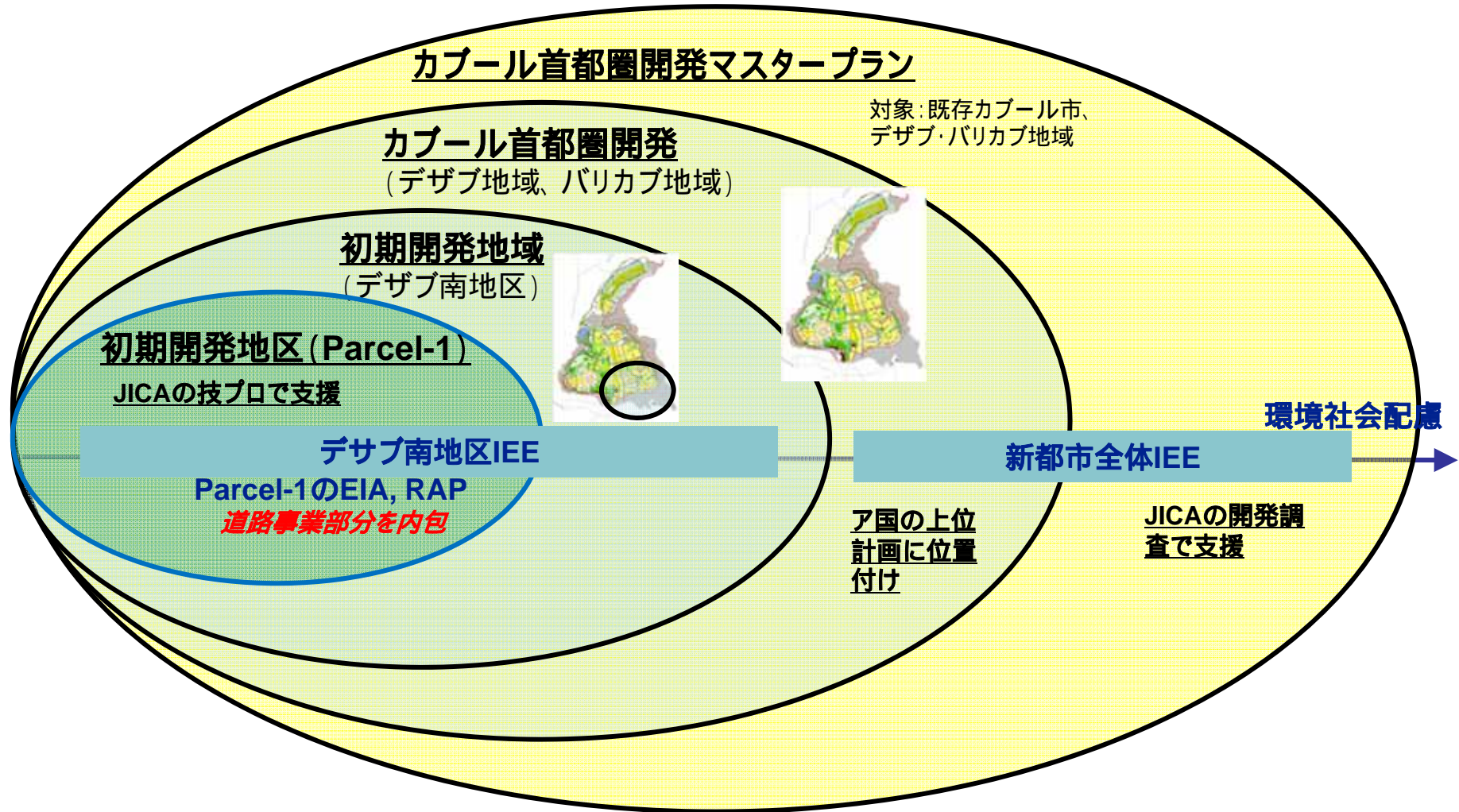
2005年：ナディリ前大統領筆頭経済アドバイザーを中心としたアフガニスタン政府の強いイニシアティブにより提起

2008年：ANDS (Afghanistan National Development Strategy)の国家プロジェクトへ

2008～2009年：マスタープラン策定支援
(JICAの技術協力「カブール首都圏開発マスタープラン」)

2009年：マスタープランの閣議決定

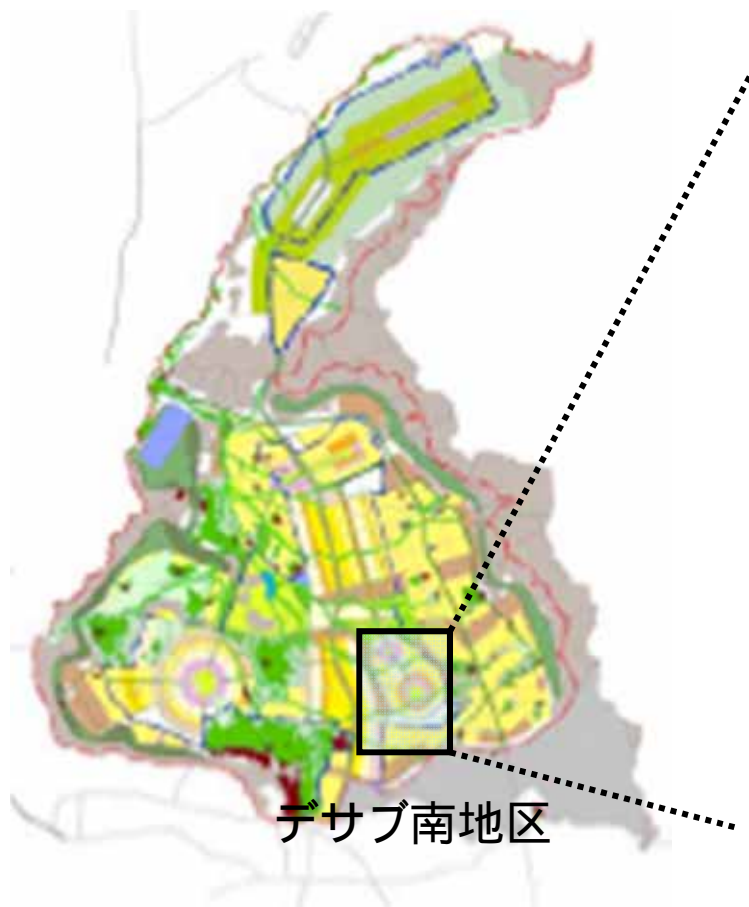
4. カブール首都圏開発の全体像



5. デサブ南地区開発計画

カブール首都圏開発で初期開発を行う地区。

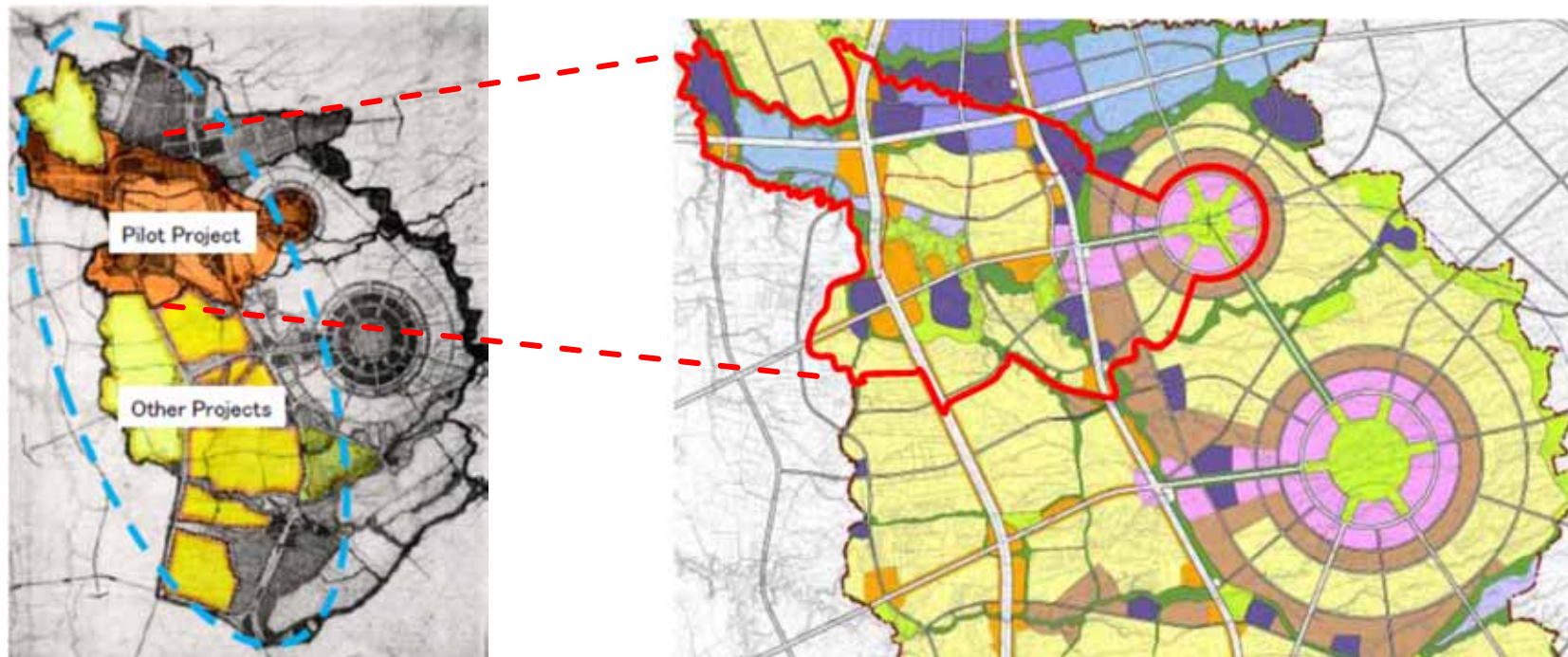
- 開発面積: 約5000ha
- 計画人口: 約40万人(2025年)



6. デサブ南初期地区開発 (Parcel-1)

Parcel-1:

デサブ南地区開発計画のうちの初期開発事業地区であり、民間業者の開発を最初に行う。
モデル事業として、技術協力プロジェクトでDCDAへ支援を行なう。



技術協力プロジェクト

実施期間: 2010 ~ 2015年

5年間でパーセル1開発の実施を通じ
DCDAの能力向上を計る。

Parcel-1の概要

面積: 550 ~ 830ha

人口: 4.2万 ~ 4.6万人

戸数: 5,900 ~ 6,400戸

*主要用途: 住宅、緑地・公園面積: 全体の約20%

*MPに基づく数値。今後の具体化の過程で変更される。



7. Parcel-1 道路整備事業

1. 対象道路



道路の位置付け:

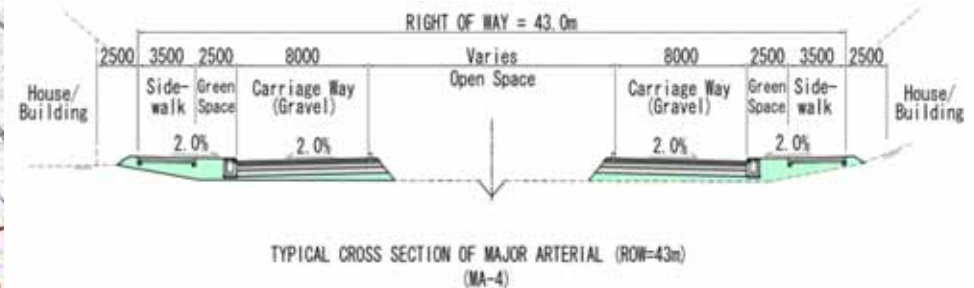
Parcel-1の地域内幹線道路の一部

対象道路:

新設道路 約9.0km以下となる予定

対象道路(青線部)はDCDAと協議中

2. 道路諸条件



片側2車線道路

約20,000PCU/day (2025年)

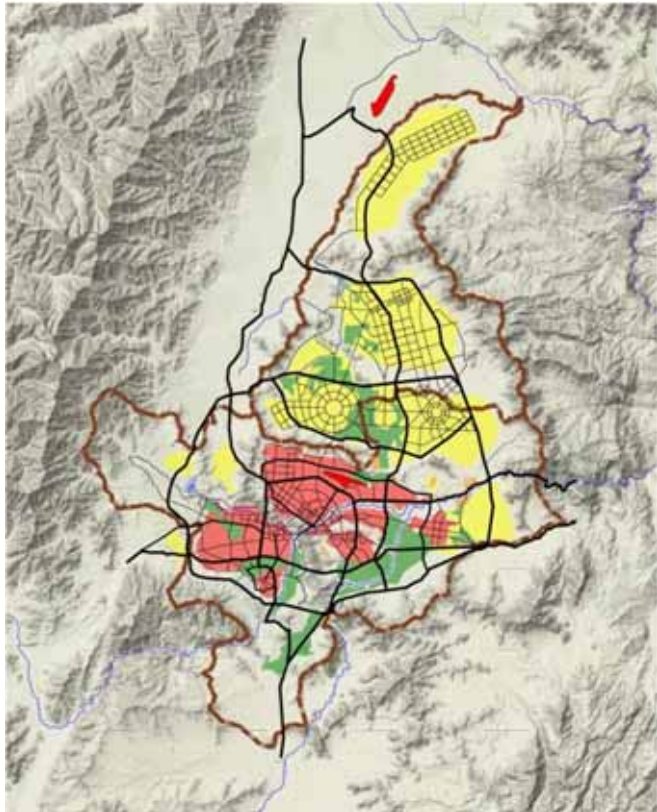
碎石道路

ニュータウン(Parcel-1)の整備進捗を踏まえ「ア」国側により舗装敷設

8. 技術協力プロジェクト 「カブール首都圏開発計画推進プロジェクト」の概要

(1) 協力期間: 2010年～2015年(5年間)

(2) アフガニスタン国側実施機関: 都市開発省、カブール市役所、**新都市開発委員会事務局(DCDA)**



Parcel-1をモデル事業として、DCDAの都市開発実施に必要な能力向上を行う。

(3) 技術協力プロジェクトの成果:

- カブール首都圏全体 -

カブール首都圏開発詳細実行計画が作成される

カブール首都圏開発に向けた実施体制が強化

カブール首都圏の地域開発管理体制・手法が整備される。

社会基盤整備事業の実施能力の向上

- 新都市開発 -

新都市開発委員会事務局の新都市開発事業の実施に必要な能力が向上する。

- 既存カブール市 -

カブール市の生活環境改善事業を実施するための能力が向上する。